

迷走地図増刊号

2014年12月1日

ほじ おんじき
哺時の飲食

村上 豊

小私歌集を造ってくれた友人が歌集名にした『黄昏』についても調べてくれ、現在の夜七時から九時頃まで、昔の「戌時」か「宵五つ」をいうと。「君のおかげで以前、西脇順三郎の詩で判らなかつた哺時がわかつた。哺時は今の午後三時頃、昔の昼八つ、未時から申時にかけて。つまり『お八つ』何でもものを摂るんだらう。その答もでていて昔は「食事」との二食だった。と。

いわれてみれば三食になったのは犬公方の綱吉の時と何かで読んだ気がする。

食事は十二時辰なら朝五つ、辰時で現代の午前七時頃から九時頃まで。「へえ！」

お八つの何かをつまみながら、ちらっとこのページをみてください。

あるテレビ番組でアルツハイマーになりにくい話をしていた。

話はその道できちんと研究をしている博士なのだが、ヒナ段に並ぶのがお笑い芸人や子役、イケメン俳優や人形女優、時折イシハラシンタローの息子の天気予報士などが出るフザケているのか、マジメなのかわからない番組だが、

熱中する趣味を持っている人

音楽をきき体を動かす人（番組では俳優がカラオケで自分でふりをつけて唄う。

とって「いいことです」)

珈琲やお茶をよく飲む人

よく咀嚼する、三十回噛む人

諸賢は三つ目までは合格でしょう。四つ目はどうだろう。年齢が高くなるにつれて、義歯の調子も関係するのかわからぬ。かく申す愚生は、小学三年の時に教師から言われて、現在までずっと続けている。ぱんも饅頭も三十回噛んでいる。パンは三十回噛むと餅のようになるので嚥下しにくいからさらに十回噛み珈琲やお茶でおろす。豆腐も勿論。

子供の時父に叱られた。

「いつまで食っているんだ、男は早飯だぞ」

「だって先生が三十回嘔めって言っている」

親にさからって現在もしているのだ。これは諸賢に勝ったのでは。え。なさっている。

失礼しました。それではアルツハイマーに「なりにくい」太鼓判を押されますね。

熱中できる趣味の方を。 抄出歌は重いです。

(朝日新聞歌壇)

自らは侵略者だとは言はぬもの誰もが自衛と言って始める	根来 信之
戦争で片足無くした祖父想う九条守れときっと言ってる	小島 陽子
原発の廃炉は決めずわが町の避難受け入れ先を公示す	水辺 あお
九条と空気は同じ汚されてはじめて気づくいかに大事かと	無京 水彦
戦中も平和平和と聞かされき政治家の言う平和とは何	村田 昭典

抄出歌第一首は永田選一位で「根来氏、戦争の本質を衝いた一首。自衛あるいは支援という掛け声のもとに始められ、侵略に至るのが怖い」と言う歌評。

確かに怖い。気分を変えて軽いものでもつまもうか。若い若い明るい少女たちの歌を。

ひっそりと話し込みたいいつまでも夏の終りの音楽室で	松田 梨子
恋までもゆずってしまうねえちゃんにあきれる私とママとひぐらし	松田 わこ

この姉妹の歌を選歌された馬場あき子氏に「蠟梅は蕾ながらにしぐれをり死者は戦後を歩まざりしか」「さびしきにあらねどひとり飲食せばすたれしをみな住む家に似る」等、戦と食のうたがある。愚生の薬である。

2014年 木染め月

筆者 橄欖同人